



平成 28 年 5 月 27 日

各 位

会社名：住友精化株式会社  
代表者名：代表取締役社長 上田 雄介  
(コード番号：4008 東証第一部)  
問合せ先：経理企画室長 村越 傑  
(TEL. 06-6220-8515)

## 新中長期経営計画（2016 年～2025 年度）について

### SEIKA Grand Design 2025 “URUOI”

住友精化は、このほど、2016 年～2025 年度までの中長期経営計画（SEIKA Grand Design 2025 “URUOI”）を策定し、新たな事業計画を始動させました。

#### 1. 住友精化グループが目指す姿

当社グループは、新中長期経営計画(SEIKA Grand Design 2025 “URUOI”)の策定にあたり、グループ企業理念として「我々は世界の変化を先取りし、独自性のある自由な発想で驚きを提供し、自らも成長し続けることにより、地球と人々の暮らしに潤い（URUOI）を与えます。」を新たに制定しました。この“潤い（URUOI）”が表象する価値の提供を通じ、当社の製品・サービスが世界中の顧客から信頼を得、また、国内外の社員全員が誇りを持って働ける企業グループであることにより、企業価値の向上をはかってまいります。

また、本経営計画においては、医療・生活、環境・エネルギー、およびエレクトロニクスを新事業創出の事業ドメインと位置づけ、効率的な新事業探索と事業化の推進にリソースを投入するとともに、市場として成長著しいアジアを中心に、欧米諸国も含めたグローバルな事業展開を進めてまいります。加えて、社会との共生、安全・環境・品質の優先、ならびにコーポレートガバナンスの強化に注力し、2025 年度における目標の実現に向けて取り組んでまいります。



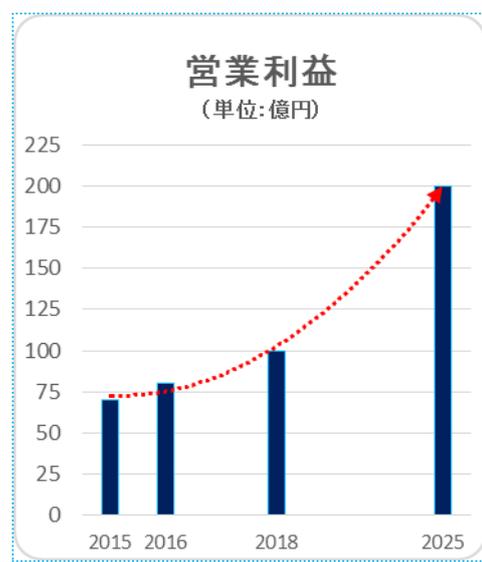
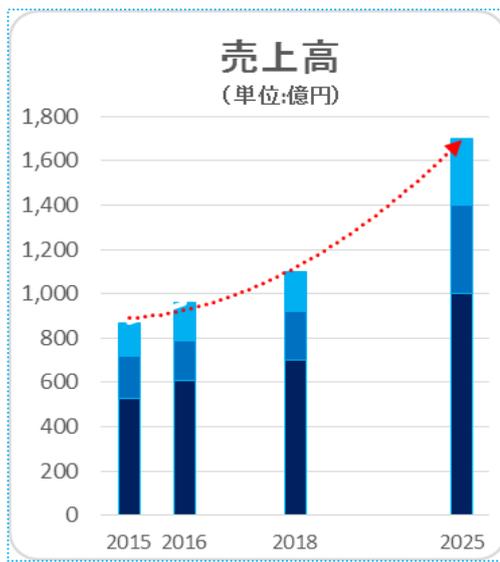
#### 2. 事業方針

新事業・新製品の起業、既存製品の国内外での規模拡大、および M&A 等を含め、約 800 億円の投資を行なうことなどにより、本経営計画の最終年度（2025 年度）の目標として、売上高 1,700 億円、営業利益 200 億円（営業利益率 12%）、ROE12%超の達成を目指してまいります。

#### (連結業績目標)

	2015 年度	2016 年度	2018 年度	2025 年度	2016 年度比伸び率
売上高	870 億円	940 億円	1,100 億円	1,700 億円	+80%
営業利益	74 億円	80 億円	100 億円	200 億円	+150%
営業利益率	8.5%	8.5%	9%	12%	+3.5point
ROE	7.5%	9.4%	10%	12%超	-

(\*2016 年度以降、前提とする諸条件は 為替レート 110 円/US\$ 国産ナフサ価格 35,000 円/トン であります。)



### (事業セグメント別方針)

#### 吸水性樹脂事業

当事業は、衛材用途を中心とした市場ニーズの多様化に応じていくと共に、人々が健康でより快適な生活を送るために、これからも、「アクアキープHP」などの高性能な吸水性樹脂をはじめとして、オンリーワンの「製品とサービス」をグローバルに提供しつづけ、2025年度に売上高 1,000 億円を目標とし、利益率の更なる向上を目指してまいります。

#### 化学品事業

当事業は、強みである機能面での「増粘」「接着」および技術面での「合成・精製」「加工」をキープファクターとして研究開発に取り組み、メインドメインの中でもとりわけ医療・生活、環境・エネルギー分野において、国内外で新事業・新製品を創出することにより、“潤い (URUOI)”を具体化し、2025年度には売上高 400 億円、うち半分を新製品が占める事業構造の実現を目指します。

#### ガス・エンジニアリング事業

当事業は、ガスをベースとした合成、混合、分離・精製、分析技術の深化により、エレクトロニクス、医療、環境・省エネルギーをメインドメインとした新事業・新製品を創出してまいります。また、既存事業の選択と集中をはかり、ニッチでグローバルな市場への展開を通して、2025年度には事業規模 300 億円の足腰の強いガス・エンジニアリング事業になることを目標としています。

### 3. 研究開発方針

本計画の達成に向け、新規事業機会探索を推進するイノベーション推進グループをコーポレート部門に新設いたしました。本グループは、住友精化がこれまで培ってきた技術を起点に、独創的な機能、価値を創出することによって、市場に潜在するビジネスチャンスを掘り起こしてまいります。また、本グループと事業部門の研究開発が、情報、テーマ、人財を双方向で行き来させることにより、相互の研究開発を加速する、従来にない研究開発体制を構築してまいります。

本計画期間中、この研究開発を促進するために、総研究費として連結売上高の4%程度を投入してまいります。

### 4. 経営基盤強化への取組

当社グループは以下の事項に取り組み、持続的な成長を支える経営基盤の強化をはかってまいります。

#### (1) CSR 活動の推進

グループ企業理念の下「安全を全てに優先させる」を原則に、レスポンシブルケア精神ならびにコンプライアンスを遵守し、継続的に社会的責任を果たすことにより、社会からの信頼を得、社会に安心を提供してまいります。

#### (2) 人財育成

人財が最大のリソースであると位置づけ、企業理念実現のために、様々な教育プログラムを通じて社員の Employability を高めるとともに、計画的キャリアアップを進めるための制度充実をはかります。

### **(3) グループ経営の強化**

当社グループは、国内外の組織における責任と権限の明確化、戦略に沿った組織・機能の最適化、およびコーポレートガバナンスの強化にも注力することにより、グローバル市場での競争におけるグループ経営の強化に努めてまいります。

### **(4) 更なる技術力の強化**

化学企業の競争力の根幹は技術力であるとの認識のもと、既存事業の発展、ならびに新規事業創出の原動力として、これまで培ってきた基盤技術の深耕と拡大、ならびに生産技術の高度化と革新などに取り組んでまいります。

以上